

<タイプ1>

- ・前に移行と成長する姿勢、心構えが大事であると学んだ。太陽の塔で、科学的成長はしても人の心も成長しているのかどうか考えてることが凄いと思った。
- ・イチローと松井の夢のような対談を観て為になった。
- ・言葉の持つ力に驚きました。
- ・岡本太郎について知ることができた。

<タイプ2>

- ・イチローは努力している人なんだと思った。
- ・岡本太郎記念館に行ってみよう。
- ・岡本太郎さんの「迷ったらダメな方を選べ」という言葉が印象に残った。イチロー×松井、楽しかった。
- ・岡本太郎は、ユーモアや獨創性に富んでいたから、数々の芸術を作り上げたのだと思う。自分も彼のように前を向き、向上心を高めて物事に取り組みたい。
- ・岡本太郎さんの言葉には熱さがあり、それでいてシンプルだと思った。イチローと松井は対称的な二人だった。自分をしっかり持っている。私は松井さんのタイプに近いと思います。
- ・イチローや松井は、とても心に響きました。これからも自分も必至にやっていきたいなと思いました。
- ・イチローの凄さを感じた。努力をしたい。マララの「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンが世界を変える」はとても心に残る言葉でした。
- ・イチローと松井はまさに対極で、どちらもカッコいい。
- ・イチローがのりをまく行為が嫌だとは思わなかった。
- ・岡本太郎の名言は哲学的だった。「愛はいつもどちらかが深く、切ない」は、ほぼ同じ文で『超訳ニーチェ恋愛論』という本に書かれていました。ほとんどの名言が心に強く響いてきました。
- ・岡本太郎の「太陽の塔」に込められた迷いのないはっきりとしたメッセージを知り、芸術の奥深さは、とんでもないものだと感じさせられた。松井とイチローの対談を観てイチローはドーピングには手を出さないスーパーナチュラルとして有名で、松井は活躍の裏にドーピングがあったといわれる。
- ・岡本太郎が子供のときから妥協せずに自分のやりたいことをする。行動力のあった人。

- ・岡本太郎の発想力はずば抜けている。イチローと松井の対談は貴重だと思った。

<タイプ3>

- ・松井秀喜とイチローの対談は印象強かった。本音で話している姿がとても驚きだった。バットについての話がプロならではの良かった。有名な企業家などの話も聞きたい。
- ・岡本太郎の名言が面白かった。他の人たちよりちょっと違うと思った。イチローののりなしおにぎりの話が面白かった。松井とは対称的でとても良いライバルだと思った。三島由紀夫の英語の発音がきれいで驚いた。他にもいろいろな動画が観れて面白かった。
- ・イチローと松井秀喜が、ストレートに語り合っていた。
- ・映像の字幕なしで聞き取りにくいものが多かった。
- ・イチローと松井の対談という貴重な映像を見て、ライバルでもあり仲間のようにも見えた。
- ・夏目漱石の「こころ」を読んだ。

<タイプ4>

- ・岡本太郎—強く生きる、個性、使命を全うするピカソとマチス—多様性の許諾。「個」が強くあるからこそ他を理解できる。
- 松井とイチロー、陰と陽、自己マネジメント。その他にスティーブジョブズとビルゲイツ、川端康成と三島由紀夫」の関係が紹介された。全員「芯」が強い。
- ・イチローと松井の対談が感動した。石川啄木を取り上げてほしい。
- ・どの業界もライバルの存在は大事だと思った。負けたくないと思うことは成長するために必要な感情だ。

<タイプ?>

- ・松井選手のように日々努力することが良いと思った。岡本太郎は「選択する際に選択したら失敗すると思う方を選べ」という考えに私は反対である。
- ・岡本太郎の芸術はすごいと思った。イチローと松井はかわっていて、松井の方が好きだなと思った。
- ・印象に残ったのは岡本太郎。妥協しないこと。
- ・松井とイチローの対談が面白かった。おにぎりのりについて興味深かった。岡本太郎はとても個性的。ユニークは会社の経営者を取り上げてほしい。
- ・名言に溢れていて刺激を受けた。
- ・イチローと松井の対談から、松井は弱音を吐かず野球のことは野球で返すといったことに驚いた。岡本太郎のセンスに驚き、作品を詳しく調べたり、見に行きたいと思った。

<タイプ5>

- ・岡本太郎の映像が印象に残った。独特な感性が作品に表れていると感じた。
- ・岡本太郎の考え方は尊敬できる。しかし学生時代同じクラスだったら、仲良くできなかったかもしれない。
- ・岡本太郎の意志の強さが分かった。
- ・岡本太郎の「挑戦した不成功者には、再挑戦者としての新しい輝きが約束されるだろうが、挑戦を避けたまま降りてしまったやつには新しい人生などはない。」この言葉に深く共感を得た。
- ・松井とイチローのおにぎりの話が印象に残った。ビルゲイツとスティーブジョブズのアニメが面白かった。
- ・イチローと松井の年収を知り、驚きました。
- ・印象に残ったのは川端康成です。伊豆の踊子や雪国を読んだことがあります。YouTubeで映像や声が聴けて良かったです。岡本太郎の名言も印象に残りました。自分の意思や志が大切だと思いました。
- ・イチローと松井の話から共通点は「努力」だと思った。
- ・岡本太郎の独創的な考え方に心をうばわれた。小さい頃から松井秀喜が好きで、野球を始めた。
- ・イチローと松井ではイチローの方が好きです。
- ・今回紹介された人たちは、あくが強く個性的だと感じた。人として付き合いづらいついてしまった。ノーベル賞の映像での一言で「なまけていたからできた。余計な力を入れない」と言っていたのが印象に残った。
- ・岡本太郎の「いいか、怖かったら怖いほど逆にそこに飛び込むんだ」というのが一番良い言葉だと思った。彼の作品、母の塔は、岡本かの子の出身地の方に向いているらしいです。岡本かの子(旧姓、大貴かの子)が父の遠い親戚と聞いた事があります。
- ・誰もが出る杭になる覚悟がなければ前へ進めない。自分も出る杭になる覚悟で色々やってみよう。

- ・イチローと松井の話には共感できる面と、やはり一流は違うなという面があった。
- ・岡本太郎さんの作品を魅了した。YouTubeはとても勉強になった。
- ・スポーツをやっているが監督に「人間性」について話をされる。その内容が少し分かったような気がします。
- ・太陽の塔に、あんな意味があったとは知らなかった。岡本太郎さんのことを深く知れて良かった。
- ・岡本太郎を、より詳しく知りたいと思った。
- ・現代のお相撲さんより、昔の人の方が細かった。

<タイプ6>

- ・岡本太郎美術館は見に行ったことがある。また行きたくなった。
- ・イチローの人を許すことが大切だという考えが印象に残った。
- ・岡本太郎に感化された。人生が面白そうだ。
- ・三島由紀夫の関心が深まった。彼が発する言葉一つ一つが力を持っているようで私の心に響くものがあった。この講義は心に響き、残る言葉を教えてくれるため、私の今後に大いに役立ってくれそうで好きです。
- ・岡本太郎の生き方は好きだ。「変なおじさん」というのはむしろ我々ではないのか。彼こそ天心爛漫な人物であり、まともな人間に見える。
- ・岡本太郎の「怖かったら怖いほどそこに飛び込んでいけ」「壁は自分自身だ」から、何かを生み出すためには、怖がらずに進んでいく必要があると思った。岡本太郎の迷いを解決するきっかけとなった「原色の呪文」を読みたい。
- ・岡本太郎さんの「太陽の塔」は、子供の頃、ウルトラマンに出てくる怪獣みたいで嫌いでした。ピカソの絵も気持ちが悪い落書きだと思っていた。今は太陽の塔を見たい。
- ・イチローと松井はタイプ性格は違うが、共通しているものがあった。自分に嘘をつかず、自分を信じ、自分の道を歩いていることです。松井をもっと好きになった。岡本太郎の印象に残った言葉は、「調和は馴れ合いで成立するのではなく、競争などでぶつかり合って生まれるものだ」。
- ・イチローと松井のトークが新鮮で、お互いの意見をぶつけ合っているところが良かった。イチローは意思がしっかりしていて貫いていると感じた。松井は自分の意思をしっかり持ちつつ相手の意見を聞いた上で行動している人だと感じた。私は松井の方が好きだ。
- ・動画の人はライバルがいるようだった。
- ・岡本太郎の生い立ちに興味を持った。当時の人が何を思っていたか、何を考えていたのかというのを想像するのは、面白いと思った。
- ・イチローにはイチローの凄さがあって、松井には松井の凄さがあった。岡本太郎の絵はメッセージ性がある。

<タイプ7>

- ・岡本太郎の、「自分のありのままを直視すること。それは強さだ」「壁は自分自身だ」。自分を奮い立たせようと思う。
- ・岡本太郎が恋愛の名言を語っているのが不思議だった。メジャーで大活躍しているイチローと松井が、初からみだったのに驚いた。
- ・松井が好きで、言動や生き方がかっこいいと思う。
- ・天才と言われる人たちにも自分と同じような悩みがあることが意外だった。
- ・岡本太郎美術館に行ったことがある。自分の思う事を貫く考え方はすごいと思った。
- ・岡本太郎の太陽の塔について詳しく知れて良かった。「壁は自分自身」が一番心に響いた。お相撲さんや野球選手もみました。人それぞれ参考になりました。
- ・イチローと松井の話の中に、メディアの向こうにファンがいるから適当なことは答えられないと言っていた。松井は弱音を吐かない。イチローは弱音を吐かないとバランスがとれないと言っていた。
- ・岡本太郎の人となりを知れた。恋愛についての名言が響いた。「いつでも愛はどちらかの方が深く切ない」「人は自分にはないもの、むしろ反対のものに惹かれるもんだ」という名言が特に素敵だと思った。松井選手とイチロー選手や大鵬と柏戸の動画を観て、ライバルの存在は自分自身の成長やモチベーションを保つのに重要だと思った。スティーブ・ジョブズとビル・ゲイツの動画が面白かった。

<タイプ8>

- ・岡本太郎が「芸術は学ぶものじゃない」と芸大を辞めたことが印象に残った。ヒトラーを取り上げて欲しい。
- ・イチローと松井がこうも違うとは思ってなかった。サッカーのDFとFWの違うポジションの人の対談も観たい。
- ・岡本太郎が印象的だった。
- ・岡本太郎さんは地元で有名で像もあり親しみが湧いた。松井やイチローは生き方がとても好き見れてよかった。
- ・スティーブジョブズについて改めて確認することができた。
- ・岡本太郎のように強い意志を持って色々な事に取り組むたいと思います。
- ・「巨人・大鵬・卵焼き」という言葉は、中学のときに聞いたことがあったので親近感が持った。
- ・イチローと松井の対談。一流になるには努力だと思った。
- ・「太陽の塔」の意味に驚いた。自分から困難な道を選ぶことは簡単ではないと思う。

<タイプ9>

- ・岡本太郎の物事に対する考え方がすごい。
- ・岡本太郎の才能には天才を感じさせるものがあった。

<タイプ?>

- ・イチローと松井の対談から、努力することより周りのライバルと競争し上手くなることの話を知った。
- ・岡本太郎記念館について、美術館が川崎市と近くでびっくりした。渋谷でも見れるので行ってみたい。
- ・岡本太郎の独特な世界観とセンスはすごい。太陽の塔のセンスはよく分からない。岡本太郎美術館に行ってみて、他の作品を観て彼のセンスを理解したいと思った。
- ・岡本太郎さんの積極的な活動に感動した。私も思い切った活動をしてみると何か得るものがあるのではないかな。大学の枠におさまらず、学外でも面白いものを見つけようと思った。
- ・渋谷の岡本太郎の作品の前を良く通るので、毎回眺めます。絵に力がありとても好きな作品の一つ。岡本太郎の本を読んでみたいと感じた。プリントの枚数が多い。
- ・岡本太郎の「芸術は爆発だ」という言葉は、芸術は人それぞれの感性であり人からならうものではないと思うのは私も共感できる点でした。イチローと松井はお互いに褒め合っていたのもプロだからこそできると思った。
- ・岡本太郎は幼い頃から高いマインド力を持っていた。
- ・岡本太郎「自分の価値観を持って生きるってことは嫌われても当たり前なんだ。イチローと松井の対談から、重圧からの解放感や過去を受け入れ、次に繋げる力はすばらしいと思いました。
- ・岡本太郎の名言集を持っているくらい好きである。
- ・岡本太郎のように、周りに流されず突き抜けた感性と意志を持った人間が才能を活かし活躍していくのではないかと感じた。「芸術は爆発だ」はグッとくる何かがある。
- ・豪華な対談が多く、とても面白くためになった。
- ・岡本太郎「出る杭になる覚悟」という台詞。イエスマンになりたくない私には共感できた。
- ・岡本太郎の自己啓発の文はよく見受けられる文だ。小説読んだ方が断然有意義な時間だと思える。
- ・川端康成が動いているのは初めて見た。岡本太郎の「まっさらな目を持って！そして自分を捨てろ。」は深い。
- ・自分は何に対して本気に向き合えるのか。それについて自分のライバルとなる人はいるのか。真剣に考えるきっかけになりました。